

平成29年度「GKP広報大賞」エントリーシート

エントリーする団体名の名称 埼玉県下水道局・埼玉県下水道公社		担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】 下水道管理課 企画・調整担当 鈴木 TEL : 048-830-5440 MAIL : a5440@pref.saitama.lg.jp	
代表者氏名 下水道事業管理者 栗生田 邦夫		(他薦の場合) 上記団体を推薦する団体の名称	
担当者氏名、所属、連絡先【電話、Fax、E-Mail】			
部門名 行政広報部門	事例名 次世代が描き、次世代を惹きつける下水道広報		
事例の概要（適宜、写真、図、記事の画像等を挿入して下さい） <p style="text-align: center;"><b><u>普段目に見えない下水道の役割や仕組みを少しでも多くの人に知ってもらいたい。 その想いを県内高校生とともに壁画・マンガという作品にして広報。</u></b></p> <p>①下水処理場での壁画制作                  「汚い」「不衛生」といったイメージを持たれることがある下水処理場内に、県内高校生と協力して壁画3作品（一作品縦2.5m、横5.5m）を制作。高校生による自由な発想で描いてもらうため、原画制作段階から協力を仰いだ。参加高校数は10校、参加生徒延べ83名、平成28年11月13日と26日の2日間にわたる共同制作となった。鮮やかな色彩で描かれた巨大壁画はメディア等でも取り上げられた（実績：テレビ埼玉、日本経済新聞等）。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">                       壁面制作中の高校生                 </div> <div style="text-align: center;">                       完成した壁画                 </div> </div> <p>②下水道マンガ「下水道ってなあに？」の作成                  下水道の役割を小学生に伝えるというコンセプトで、県内高校生がマンガを作成。日常生活を起点としたストーリーで、キャラクターとともに下水道の仕組みを身近に楽しく学習できる内容となっている。併せて、小学校の社会科教材として使用してもらえるように教員用の解説書を作成した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">                       下水道マンガを読む子供たち                 </div> <div style="text-align: center;">                       マンホールサミットでの作成者の高校生によるマンガ音読                 </div> </div>			
エントリー事例の特徴 <p>【壁画制作】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒から、この壁画を通して下水道のことに興味を持ってもらえたら嬉しい、との声が寄せられた。</li> <li>今年度以降も他の水循環センターで展開するとの決定がなされており、壁画のメンテナンスも含め、学校側との継続的な関係を持てるツールとなった。</li> </ul> <p>【マンガ作成】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高校生による若い感性で小学生により近い目線から作成することで、小学生自身が理解しやすい内容に仕上がるとともに、教員用解説書を付けることで教員にとっても今後活用しやすいものとなった。</li> <li>作成後、県内各小学校あてに当マンガを周知したところ、平成29年5月現在、36校から約3,000部の配布希望があった。</li> </ul> <p>【マンホールサミットでの披露】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>GKPとの共催のマンホールサミットでは、製作者や学校関係者自身に参加いただき、これらの成果を披露することにより、サミット自体の集客力の向上（入場者数約3,000人）にもつながった。</li> </ul>			
付属資料の提出	(あり) ・ なし (どちらかに○)		